

株主レポート

まるべに

2025 SUMMER No.138



Marubeni

MESSAGE FROM CEO

社長メッセージ

利益成長と企業価値向上を加速させ、 次なる成長ステージへ

株主の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本年4月に社長に就任いたしました大本晶之です。

当社は2025年度より、中期経営戦略「GC2027」をスタートしました。「GC2027」は、「GC2021」から始まる2030年度に向けた持続的な企業価値向上を目指す長期的な経営戦略の第3段階に位置付けております。これまで「変革の3年間」として位置付けた「GC2021」では、コロナ禍からのV字回復を達成し、続く「GC2024」では「戦略実践の3年間」として、4,500億円超の収益基盤を確立することができました。この好調な流れを引き継ぎ、「GC2027」では「成長加速の3年間」と位置付け、2030年度までに時価総額10兆円超を目指し、次なる高みへ向けた成長を加速させてまいります。

当社は2025年5月2日に2024年度連結決算を公表いたしました。2024年度の純利益は5,030億円となり、2022年度に続き過去2番目の利益水準を達成いたしました。また、基礎営業キャッシュ・フローは6,066億円のプラスとなり、当社史上初めて6,000億円を超えました。これを受け、2024年度の1株当たり年間配当金は95円といたしました。

2025年度の純利益見通しにつきましては、前年度比+70億円増益の5,100億円としました。市況の下落等により資源分野の実態純利益は減益となる見込みですが、非資源分野の実態純利益は+200億円の増益を見込んでおります。当社の強みである非資源分野の収益力を更に強化し、既存事業の磨き込みや「GC2024」および「GC2027」期間における成長投資による利益貢献を着実に実現してまいります。株主還元につきましては、2025年度の1株当たり年間配当金予想を前年度比+5円増配の100円といたします。加えて、400億円を上限として自己株式の取得を実施することを決定しました。これは、総還元性向目標を昨年度までの30～35%程度から、「GC2027」において40%程度に水準を引き上げたこと等を考慮したものです。

私は「高みを目指す成長志向」こそが世界と丸紅グループ、そして社員一人ひとりを豊かにすると信じています。167年にわたり変革と成長を続けてきた丸紅グループの伝統を受け継ぎ、私心を排し「無私の心」で、次世代への責任としてこの大きな目標に心を込めて取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

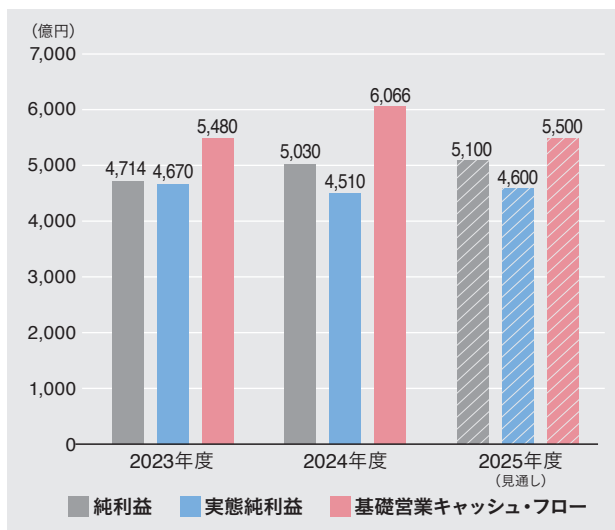
代表取締役社長 大本晶之

FINANCIAL HIGHLIGHT

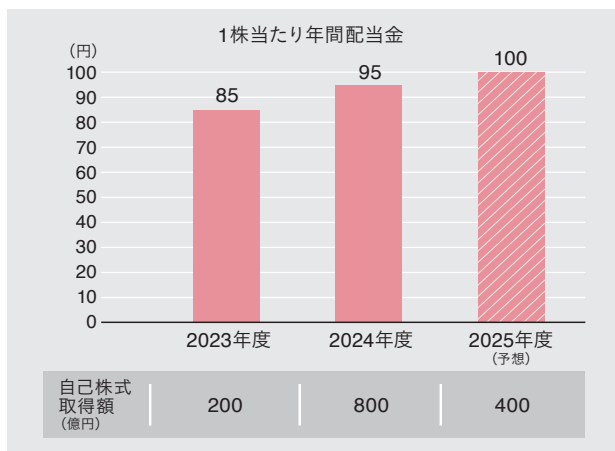
財務ハイライト

2024年度の純利益は過去2番目の利益水準の5,030億円(前年度比+316億円)となり、1株当たり年間配当金は95円としました(中間配当金45円、期末配当金50円)。2025年度については純利益見通し5,100億円、1株当たり年間配当金予想を100円としております。

純利益・実態純利益・基礎営業キャッシュ・フロー



株主還元



※純利益:親会社の所有者に帰属する当期利益

※実態純利益:純利益から一過性要因を控除した概数

※2025年度見通し:2025年5月2日に公表した通期見通し

中期経営戦略 GC2027

2025年2月、2024年度第3四半期決算と同日に丸紅は中期経営戦略「GC2027」を発表しました。

「GC2027」の基本方針は、次の成長ステージに向け、経営のギアチェンジを図り、利益成長・企業価値向上を加速させることです。そのための成長ドライバーとして、以下の3つを掲げています。

企業価値向上に向けた3つの成長ドライバー

①既存事業の磨き込み・
拡張

②成長への資本配分・
投資戦略

成長なき事業からの回収、注力領域
への重点投資、長期目線の種まき

③Global crossvalue platformの追求

丸紅は2030年度までに時価総額10兆円超を目指します。従来、当社は時価総額目標を公表していませんでしたが、長期的な企業価値向上に対する経営の姿勢を示した形となります。同時に、「GC2027」期間中における4つの定量目標を示し、それらを達成する道筋となる利益成長計画や資本配分方針、株主還元方針等を打ち出しました。

2030年度までに時価総額10兆円超を目指す

GC2027 定量目標

連結純利益

6,200億円以上
(2027年度)
(CAGR*1 10%程度)

基礎営業
キャッシュ・フロー*2

20,000億円
(3カ年累計)

総還元性向

40%程度
累進配当の継続

ROE

15%

*1 年平均成長率。CAGR10%程度は、2025年2月5日時点の2024年度見通しにおける実態純利益(連結純利益から一過性要因を控除した概数)4,600億円を起点とした2027年度までの数値

*2 営業キャッシュ・フローから営業資金の増減等を控除

上記の他にも次の成長ステージに向けた戦略が詰まった内容になっていますので、是非ご覧ください。



企業広告「できないことは、みんなでやろう。」



丸紅は、歌手のAdoさんを起用した広告「できないことは、みんなでやろう。『LIVE』篇」を2025年2月より開始しました。本広告では、引き続き丸紅グループの在り姿「Global crossvalue platform」のスローガン「できないことは、みんなでやろう。」をテーマとしています。本広告のために制作された新曲「ロックスター」にのせて、多くの人の力が掛け合わされ、新しい音楽が生まれていくストーリーを描きました。

新企業広告
特設ページ



丸紅ギャラリー第12回企画展

華麗にして繊細 友禅染の神髄

—丸紅コレクションの友禅染—

Splendor and Sophistication: Kimono Masterpieces
with Yuzen Dyeing in the Marubeni Collection

2025年8月5日(火)～9月25日(木)

(前期:8月5日(火)～8月27日(水) 後期:9月1日(月)～9月25日(木))

(共 催) 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

本展では、江戸時代に発生した染色技法「友禅染」の歴史とその発展の軌跡をご紹介します。江戸時代の小袖を中心に、加賀藩の産業振興で製作された友禅染掛幅、人間国宝・木村雨山の着物など、多種多様な友禅染の作品を展示します。時代に応じて変化した技術と繊細な表現をお楽しみください。また、石川県で婚礼の際に用いられる「花嫁のれん」の展示もご覧いただけます。本展は能登半島地震の復興支援を目的とし、入館料は復興支援金として全額寄付されます。

丸紅ギャラリー概要

〔住 所〕 東京都千代田区大手町一丁目4番2号 丸紅ビル3階

〔開館時間〕 10:00～17:00 (受付終了:16:30)

〔休 館 日〕 日曜日、祝日、年末年始、展示替え期間

〔そ の 他〕 入館料等、その他概要についてはHPをご覧ください

会社概要 (2025年3月31日現在)

会社名	丸紅株式会社 (英文: Marubeni Corporation)
創業	1858年5月
設立	1949年12月1日
資本金	263,711百万円



丸紅公式HP



統合報告書サイト



丸紅公式SNS



丸紅ギャラリー

2025年1月号



丸紅グループ広報誌「M-SPIRIT」

2025年4月号



株式事務に関するご案内

- 未払配当金のお支払い
みずほ信託銀行・みずほ銀行
- 住所変更等の各種お問い合わせ先

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
☎0120-288-324
(電子提供制度専用ダイヤル) ☎0120-524-324

※証券会社に口座をお持ちの株主様は、口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店 証券代行部 〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
単元株式数	100株
上場取引所	東京
公告方法	電子公告 (当社の電子公告は、当社ウェブサイトの以下のアドレスに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。) https://www.marubeni.com/jp/koukoku.html
証券コード	8002
ウェブサイト	https://www.marubeni.com/jp/

株主レポート まるべに No.138 (年2回発行) 2025年6月20日発行
発行/丸紅株式会社 IR・SR部 発行人/石田哲也
〒100-8088 東京都千代田区大手町一丁目4番2号

将来見通しに関する注意事項: 本紙に掲載されている予測や将来の見通しに関する記述等は、本紙の発行日現在において入手可能な情報やそれをもとにした当社の仮定・判断に基づくものであり、将来の業績を保証するものではありません。よって、実際の業績、結果、パフォーマンス等は、経済動向、市場価格の状況、為替の変動等、様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があります。当社は、本紙の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は、本紙に掲載されている予測や将来の見通しに関する記述等についてアップデートして公表する義務を負うものではありません。



環境保全のため、環境に配慮した植物油インキで印刷しています。